

犬が耳を痒がる!犬の耳ダニ(耳ヒゼンダニ) 感染症の原因・症状・治療・予防方法とは?

犬が耳元を痒そうに何度も掻いたり、耳を床にこすり付けるような仕草をしたりする場合は、耳ダニに感染している可能性が考えられます。今回は、耳ヒゼンダニとも呼ばれる犬の耳ダニに感染しないために、知っておきたい原因・症状・治療・予防方法などをお伝えしていきます。



犬が悩まされる耳ダニ(耳ヒゼンダニ)とは

犬に多く見られる耳ダニは、耳ヒゼンダニ(学名:Otodectes cynotis)と呼ばれており、体長は0.3~0.5mm程度の大きさで、人間の肉眼では確認することは難しいほど小さいです。

耳ヒゼンダニは、耳の穴の入り口から鼓膜までの間にある外耳道に寄生し、卵を産み付け、4日程度で孵化します。

犬の耳ヒゼンダニ症の症状とは

黒い耳垢が大量に出てくる、耳が臭い、耳元を頻繁に掻く、頭を振るのが癖になっている、空気を掻くように足を動かす癖が出るようになる、飼い主が耳のあたりを触るのを嫌がるようになる、など、個体によって様々です。

感染している状態が長引いてしまうと、耳の中の皮膚が赤く腫れ上がり、炎症を起こして、細菌や酵母(マラセチアなどのカビの一種)が増殖して重症化することがあります。

犬が耳ヒゼンダニ症になる原因

犬が耳ヒゼンダニに感染する原因としては、耳ヒゼンダニにすでに感染されている犬と接触する、耳ヒゼンダニの卵や成虫で汚染されているブラシ・ベッド・敷物などを利用する、など、様々な事例が挙げられます。

犬の耳ヒゼンダニ症の治療方法

犬に耳ヒゼンダニ症の症状が見られた場合の治療は、動物病院で耳の中を洗浄してもらい、耳ダニの殺虫・駆除効果のあるお薬を投薬してもらう方法が主です。

二次感染や、重度の炎症などの症状が起こっている場合は、耳ダニの殺虫・駆除と合わせて治療を実施していきます。

犬の耳ヒゼンダニ症の予防方法

犬が耳ヒゼンダニ症に悩まされないためにも、日頃から愛犬に耳ダニ予防を行うことが重要です。ここでは、犬の耳ダニ予防に効果が期待できる方法をいくつかお伝えしていきます。

・犬の耳の中を、常に清潔な状態に保つ

犬に耳ダニが寄生しないように注意をしようと、犬の耳掃除をあまりにも頻繁に行うのは、かえって逆効果になることがあります。耳掃除をやりすぎると、殺菌作用をもつ保護膜を消失させてしまう恐れがあるため、頻度に気をつけるようにしましょう。

・耳掃除は、やりすぎに注意する

犬に耳ダニが寄生しないように注意をしようと、犬の耳掃除をあまりにも頻繁に行うのは、かえって逆効果になることがあります。耳掃除をやりすぎると、殺菌作用をもつ保護膜を消失させてしまう恐れがあるため、頻度に気をつけるようにしましょう。

・家中をしっかりと掃除する

耳ダニに感染した犬が普段から過ごす場所には、耳ダニの卵・幼虫・成虫が散らばっている可能性が高いです。ハウス内や、家全体の掃除も手を抜かずに掃除を行うようにしましょう。

・犬が普段使うものは消毒も忘れずに

犬が普段使うタオル・毛布・マットなどは、洗濯するだけでなく、消毒を行うようにしましょう。消毒方法としては、80度のお湯を用意し、10分間程度、熱水で洗濯する手法が効果的だとされています。

・犬種によっては耳の毛をトリミングすること

犬種によっては、耳の穴の入り口に、耳の奥が全く見えなくなるほどの大量の毛が生えることで、耳ダニの繁殖に気づかないこともあるため、定期的に耳の毛をトリミングしてもらったり、動物病院で耳の中の毛を抜いてもらったりして、常に清潔な耳の状態を保つことが大切です。

犬が耳を痒がったり、黒い耳垢が見られたりする場合は、耳ヒゼンダニ症の可能性があるので、獣医師に相談を

動物病院では耳ダニの対策や予防方法などを教えてもらえるほか、健康診断や、寄生虫（ノミ・マダニ）の対策・予防なども実施してもらうことができ、総合的な健康管理を行うことが可能です。まずは最寄りの動物病院で診断を受けてみましょう。

ノミ・マダニに関する最新情報をチェック!

 [LINE 公式サイト](#) [LINE@友達募集中](#) →



MSD
Animal Health

JP-BRV-210200018